

赤い羽根共同募金の助成を受けて

～なごやかクラブ瑞穂の助成金事業(活動)～

赤い羽根共同募金の助成は、クラブ会員の健康づくりや仲間づくり、友愛訪問を始めとする社会奉仕活動等の活動を行うために大きく役立っています。今年度の事業実施状況と今年度予定事業の一部を紹介します。

【愛称】なごやかクラブ瑞穂(正式名称:瑞穂区老人クラブ連合会) 瑞穂区役所福祉課内 ☎052-852-9395

5月:なごやかクラブ瑞穂 総会/仲間づくり活動報告会

◆各クラブ代表が出席。1年間の事業のまとめや年度の事業計画・予算を決定する大事な会議です。

◆「なごやかクラブ瑞穂」会長として12年務められた水谷 弘 氏へ瑞穂区長から感謝状と記念品が贈呈されました。

◆総会での仲間づくり活動報告会で

は会員増の上位3クラブに「仲間づくり活動賞」を贈呈。その中でクラブ代表から会員増に向けたPR活動の実践活動の発表があり、会員増加のヒントになりました。総会終了後に乳飲料会社の



『健康教室』を開催し、改めて「健康」の必要性を学び、希望者には測定器による「骨強度・血管年齢」を計測し、喜んだ方、現実を知って驚いた方が多く見られました。



5月:代表者等研修会

◆福井県で開催。各クラブ代表等113名参加。知る機会の少ない原子力の仕組みや安全対策を学ぶ。新しい知識を学ぶことで、脳の活性化とクラブ内の話題づくりに。帰路では海鮮市場で買い物。車中では、ビンゴお楽しみ抽選会で喜怒哀楽。



VRシアターで勉強です。

7月:代表者等研修教養講座



◆コロナ禍以降、規模を縮小して開催しています。テーマを「足腰が弱ってきたときの生活の知恵」として、県理学療法士会作業療法士2名を招き、足腰等を弱らせないためのコツを学びました。73名が参加しました。



9月:社会奉仕の日(全国一斉)

◆全国のクラブでは、毎年9月20日を中心に、一斉に清掃活動などの社会奉仕活動を行います。令和6年9月のなごやかクラブ瑞穂の活動結果は……

活動者: 約462(439)名 清掃箇所: 179(135)箇所

処理したゴミの量/45L: 444(355)袋

※()書は同年、12月数値

※5月、12月も一斉に活動します。また、これらの重点月に限らず、地域の公園や道路の清掃や一人暮らしの方への声掛け、子どもたちの安全など、日常的に奉仕活動をしています。



定期(毎月):友愛訪問活動とサロン活動

- ◆訪問活動: 一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯にクラブ会員(友愛活動員)が安否確認や話し相手となることを目的に訪問、地域のサロンへの誘いなど、見守り活動を行います。
- ◆サロン活動: 高齢者誰もが気軽に参加できる憩いの場、おしゃべりの場です。訪問活動と同じく、孤立防止、介護予防のため相互に支え合う地域活動です。

◆令和7年度は63クラブ中、26クラブが実施/実施率41.3%
うち訪問15クラブ サロン11クラブ
友愛活動員計105名

今後も実施クラブの増加に努めます。

◆このサロンには社会福祉協議会が助成するサロンは含まれていません。市老人クラブが助成するクラブのみです。



サロンの様子

12月:第61回『瑞穂区寿大学』

◆会員の資質向上、各クラブの発展と高齢者福祉増進を目的に昭和39年、瑞穂区老人クラブ連合会発足時から続いている伝統行事です。昨年のテーマは『高齢者の顔面神経麻痺・耳鳴り』。約140名が聴講しました。コロナ禍以降、参加規模を縮小。今年のテーマは……

日時 令和7年12月17日(水) 13:00~

会場 瑞穂区役所講堂

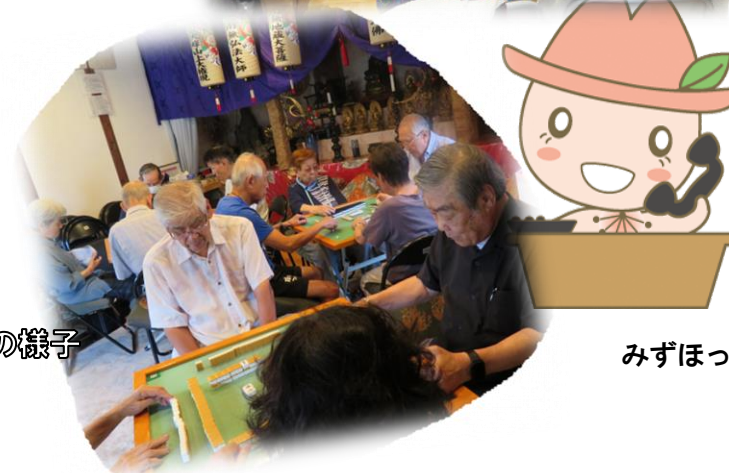
演題 『知ってほしい高齢者の肺炎』

～ 肺炎は老人の友? にしないために ～

《講師》名古屋市立大学医学研究科臨床感染制御学分野 教授
中村 敦 先生



昨年の様子



みずほっぺ